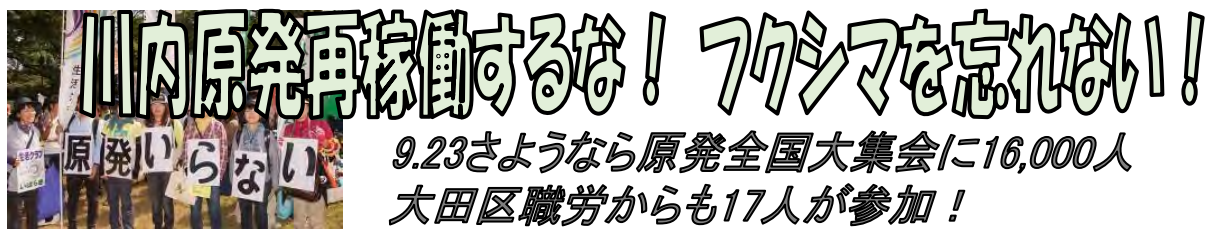


大田区職員9条の会ニュース

第91号 2014年10月9日 編集 大田区職員9条の会事務局
大田区職員労働組合気付



福島第一原発はいまだに日々大量に発生する汚染水の処理さえ目途が立たず、福島の大震災の被災者の生活再建の道も示されていない中で、安倍政権は川内原発を再稼働しようとしています。このような中で鹿児島県川内原発再稼働に反対する全国集会が開かれました。

原発再稼働を許さない！すべての原発を廃炉にしよう！9月23日の集会に参加して、反原発の声は、フクシマ原発事故から3年以上が経った今、増々大きく強くなっていることを実感しました。

昨年9月14日に同じ亀戸中央公園で開かれた集会の2倍に届くような参加人数もさることながら、目前に迫った川内原発再稼働を止めさせようと集まった若者からお年寄りまで様々な人たちが、

集会場は熱気に満ちあふれていました。主催者の一人である大江健三郎さんは、「原発がなくてはならないというのはウソだ。原発反対の声は弱くない。再稼働や集団的自衛権を行使しようとする安倍政権への大きな抵抗がある。私たちは断固として進まなければならない。」と発言。他の発言者からも原発をすべて廃炉にするまで頑張ろうとの声が上がっていました。



集会後は全員で、3時間かけて錦糸町駅までデモ行進しました。

私たちは大田区職労の旗のもと、今後もさようなら原発1000万人アクションに参加して、みんなで原発反対の声をあげてゆきましょう

空母母港化41周年

原子力空母ジョージ・ワシントン横須賀基地母港化6周年抗議

原子力空母配備撤回を求める9.25全国集会

東京湾に浮かぶ2つの原子炉は危険！
原子力空母配備撤回を求める全国集会
に1700人

9月25日、横須賀基地の原子力空母母港化抗議・配備撤回を求める集会が横須賀ヴェルニー公園で行われました。米原子力空母ジョージ・ワシントン（G・W）が横須賀に配備されて今年で6年目になります。毎年この日に配備反対の抗議集会が行われています。

当日は、集会開始時には雨が降っていなかったものの、集会の途中から降り始めた突然の強い雨にも負けず、横須賀中央駅までデモ行進も行いま

した。全体で1,700名が参加し、大田区職労からも4名が参加しました。

現在、国内の原発は全て止まっていますが、東京湾にある2基の原子炉（G・W）は現在も稼働中です。G・Wは来年度中には、同じく原子力空母のロナルド・レーガンに交代すると発表されています。同時に随伴のイージス艦の増強が想定されます。政府も横須賀市も、同型（ミニッツ型）艦の交代にすぎないとの姿勢ですが、私たちはこれを容認するわけにはいきません。新たな空母の配備、基地機能の強化に反対し、原子力空母の母港撤回と脱原発社会の実現を目指しましょう！

沖縄を「基地のない平和な島に」

戦時中、唯一の地上戦になり、非戦闘員の住民 4 万人以上が米軍の爆撃や自決そして日本軍により殺された。沖縄の人たちは言う「本土防衛の捨石になった」と。そして戦後、沖縄はアメリカの施政権下に置かれ、戦争が終わっても自分たちの住む家や土地は基地の中、帰るところも無かった。しかも「銃剣とブルドーザー」でやっと住み着いた場所も基地拡張のために追い出された。1973 年「平和憲法のもとに」と日本に復帰しても米軍基地はそのままとした。そして今、辺野古に新基地が作られようとしている。沖縄の人たちの願いは「基地のない平和な島」なのに。選挙で辺野古新基地反対派の名護市長が二度当選した。そして、基地反対の名護市議も二度目も多数派になった。しかし、安倍政権は沖縄の人々が反対しているのにも関わらず工事を強行している。沖縄の人々はこうした綿々と続く日本政府の差別的な仕打ちに怒っている。私たち本土の労働者もこうした沖縄の声に耳を傾けて、共に行動しよう。

田園調布九条の会 2014 年 秋の文化講演会

人権派弁護士

憲法を語る

講演者：宇都宮健児さん

日時：10月11日(土)

19:00~21:00 (開場 18:30)

場所：大田区民プラザ大ホール

参加費：500 円

主催：田園調布九条の会
03-3759-5521

集団的自衛権行使容認閣議決定撤回！

「戦争のできる国」法整備阻止！

10.17 戦争への道を許さない東京集会

日時：10月17日(金) 18:30~

場所：日比谷公会堂

講演：「集団的自衛権行使容認閣議決定撤回と沖縄」

講師：前泊博盛さん

(沖縄国際大学教授・元琉球新報解説委員長)

主催：戦争をさせない東京 1000 人委員会

安倍政権は、私たちと日本を、いったいどこに連れて行こうとしているのでしょうか？

特定秘密保護法の強行制定、国家安全保障会議設置、武器輸出 3 原則廃止……。

そして、7月1日には「米軍を守るため」の自衛隊の武力行使＝戦闘を認める「集団的自衛権の行使容認」閣議決定を強行しました。そして、行使容認を法律で裏付ける個別法の改正を目論んでいます。

どれもこれも、日本を〈戦争ができる国〉に作り変え、わたしたちを〈戦争への道〉に引きずり込むための〈平和憲法破壊工作〉です。

私たち一人ひとりの意志を無視して〈戦争への参加〉を決定することは、立憲主義を否定し、民主主義国家の存立そのものを脅かす暴挙です。

この間、安倍政権は、単に憲法の破壊だけではなく、人権の破壊、生活の破壊を行ってきました。沖縄戦の後、米軍統治下、本土復帰後も米軍基地被害に苦しんできた沖縄県民の頭上に、危険なオスプレイを飛ばし、「辺野古新基地」建設を強行しようとしています。福島第一原発事故で仕事も住まいも奪われた被曝者を、今なお放射線量が高い地域に「帰還」させ、再被曝させようとしています。原発の再稼働が住民の安全・安心より優先されようとしています。

首相の言う、「国民の生命と財産を守る」ために、これからどれだけの人が傷つき、犠牲となることを強制されるのでしょうか。誰かに犠牲を押しつける社会を、もう私たちは許してはなりません。いまこそ憲法の理念を、それを弄ぶ権力者から、私たち自身の手に取り戻さなくてはならないのです。

憲法破壊、戦争への道に「待った」をかけられるのは私たちです。安倍政権の企む〈壊憲〉に「そんなことは絶対許さない」と闘争宣言しよう。そして「10・17 集会」に結集し、戦争への道を許さない闘いを職場・地域から展開しましょう！

大田たまがわ九条の会 秋の講演会

「海は広いな 大きいな」

日・米を生きる詩人が語る日本の平和と憲法

講演者：アーサー・ピナートさん

日時：10月23日(木) 18:45~

場所：大田区民プラザ

参加費：700 円

主催：大田たまがわ九条の会
090-6109-6273

戦争はイヤ！ 集団的自衛権行使反対！

高遠菜穂子さん講演会

～イラク・戦争・平和を語る～

日時：10月31日(金)

18:30~20:30 (開場 18:00)

場所：消費者生活センター 大集会室

参加費：500 円

主催：戦争をさせない 1000 人委員会
会東京南部

090-1732-1058